

や せしょうがっこう みなさん  
八瀬小学校の皆さんへ

べんきょう 勉強についてのお話の第2回です。3がつ13日にち おはなし つづき  
3月13日のお話の続きです。

「べんきょう 勉強は、『おとな 大人になり、じぶん 自分らしくいきる 生きる』ために必要なちから 力をつけてくれるもの」で、  
「べんきょう 勉強には2つのしゅるい 種類があります。」

まえ かい 前の回はそのうちのひとつめ『みんながやるべんきょう 勉強』のお話をしました。

きょう ひとつ べんきょう じぶん 自分らしさをそだてる 育てる 勉強のお話です。

### 『じぶん 自分らしさをそだてるべんきょう 育てる 勉強』のお話

みなさんにこの「べんきょう 勉強についてのお話」をしようと思ったのは、この『じぶん 自分らしさをそだてるべんきょう 育てる 勉強』のことをお話ししたかったからです。『じぶん 自分らしさをそだてるべんきょう 育てる 勉強』はとても楽しいものです。そのことをみなさんにしってほしいとおもっています。

みなさんには、なに 何かきになること（すきなこと・きょうみ 興味のあること）がありませんか？うちゅう 宇宙に興味があったり楽器のえんそう 演奏をすることが好きだったり、むし 虫がすごくきになったり、ほかにダンス、イラスト、コンピューター、れきし 歴史、けんだま 剣玉、ものづくり、アニメ、からだのしくみ、ことわざ、ひやくにんいっしゅ 百人一首かるた…などなど、ここになどかききれないほどいろんなことがわたしたち 周りのにはあります。そしてどんなことにきょうみ 興味があるかは人によってさまざまです。

うちゅう 宇宙のはじまり 始まりにはきょうみ 興味があるけれど百人一首かるたにはまったくきょうみ 興味がないという人もいますでしょうし、しょうらい あにめ 将来アニメをつくりたい おもっている人もいれば、どれだけ たのしいよ とすすめられても「自分にサッカーはちょっと…」という人もいますでしょう。でもそのひと 人だって「おいしくてきれいなケーキを作ってみたい。」とおもっているかもしれません。ぜんぶ 全部OKです。このような『じぶん 自分 興味のあることや知りたいと思うことをより深く知ろうとすること』これが『じぶん 自分らしさをそだてるべんきょう 育てる 勉強』です。

ただ、ざんねん 残念なことにこういうことのほとんどはがっこう 学校ではやりません。そう、自分がほんとうにやりたい、知りたいことのほとんどはがっこう 学校にはないのです。ではどこでやるのか。そう、いえ 家です。「じたくがくしゅう 自宅学習」とか「じゆうべんきょう 自由勉強」とかいろんな言い方がありますが、みなさんの多くはそれを『がっこう 学校でやっているべんきょう 勉強のふくしゅう 復習』だと思っっているのではないのでしょうか。もちろんそういうこともたいせつ 大切です。でも、それだけではなくてじぶん 自分のやりたいこと、知りたいこと

について試したり調べたりなどと言うこともとても大切な勉強だし、その勉強はきっと『自分にとって楽しい勉強』になるとおもいます。

宇宙飛行士になった人は、きっと小学生のころから宇宙のことをいっぱい見たり、調べたりしていたのではないのでしょうか。でも、そのほとんどは学校ではなくて自分の自由時間にやっていたはずです。もちろん、将来それを仕事にするかどうかは別として、『自分の自由な時間に自分の好きなことを勉強する。』ことで、『自分をより自分らしく育ててくれる。』ことは間違いありません。

『好きなことをすれば、自分らしさを育てる勉強をしたことになるのか』の話

『自分の好きなことをする。』こととそれが『自分らしさを育てる勉強をしている。』は同じでしょうか？先生はそこに少しの違いがあると思っています。

去年の8月にある会社が調査した「中学生の将来になりたい職業」についてのアンケート結果で、男子の1位はYoutuber（ユーチューバー）などの動画投稿者、2位はプロeスポーツプレイヤーだったそうです。Youtuber（ユーチューバー）などの動画投稿者は女子の7位にも入っています。

ある子どもがおもしろいユーチューブの動画を毎日何時間もただ見ていたとします。それはその子にとっての『自分らしさを育てる勉強』になっているのでしょうか？確かに『自分の好きなことをしている。』ことにはなっていると思いますが、『自分らしさを育てる勉強』にはなっていません。それはどうしてでしょう。それはそのユーチューブ動画から『自分の考え』が生まれていないからです。

自分を楽しませてくれる動画を見て、「この動画がこんなに楽しいのはどうしてだろう。」「この動画を撮影するためにはどんな機材が必要なのだろう。」「この動画1本作るのに、どれくらいの費用がかかっているのだろう。」などと言った『自分の心に浮かんできた思いや疑問』をもとにして、それを本気で考えたり調べようとしたりすること。これが『自分らしさを育てる勉強』のスタートです。

もう一つ例をあげましょう。ゲームばかりやっている人がおうちの人に注意されて「いやいや、ぼくはプロのゲーマーをめざしているから、これはそのための訓練だ。」と言いつつ話をよく聞きます。でも、これも同じで、ただゲームをプレイすることだけでは『自分らしさを育てる勉強』とはいえません。そこにも『自分の考え』が生まれていないからです。「いやいや、ぼくは『どうやったらクリアできるかな』など考えながらやっ

ているよ。」というかもしれません。確かにそれも自分の考えかもしれませんが、そもそもゲームを楽しむということは、それをクリアしていくことなのですから、『どうすればクリアできるか考える』というのは自分の考えではなくて『ゲームに考えさせられている』だけです。では、どうすればゲームが『自分らしさを育てる勉強』にできるでしょうか？『自分で攻略本を作る。』とか『この場面はどのようなプログラムでできているのかを考える。』などに本気で取り組めば、それはもうりっぱな勉強と言っていいのではないのでしょうか。このようなことをこつこつとやっていくことが、プロのゲーマーを育てるのだとおもいます。

ユーチューブやゲームを例に出したので、「けっきょく先生もユーチューブやゲームはあかんっていいたいんやろ。」と思われるかもしれませんが、決してそうではありません。どれだけ見続けても、ただ見ているだけでは絶対にユーチューバーにはなれません。どれだけ長時間プレイしても、ただプレイしているだけでは絶対にプロゲーマーにはなれません。宇宙もそう、ただ夜空をながめるだけでは宇宙への思いは広がったり深まったりしないでしょう

大切なことは『自分の好きなこと』に楽しませてもらっているだけではなくて、『その好きなことについてもっと知りたい、自分で工夫してみたい』という『自分の考え』をもとに『好きなこと』に取り組むことなしには、自分らしさを育てるものにはならないですからね。

ということなのです。

長くなりましたが、何でもかまいません、自分の好きなことを勉強として取り組んでみてください。「自宅学習」「自分勉強」なのですから、1回で終わらなくても、ノート1ページで終わらなくてもかまいません。『毎日同じ時刻に月がどこにどんな形で出ているかを調べる』というテーマに取り組もうとすれば1ヶ月かかります。それでもいいのです。毎日『ここに、この形。』と書き入れるだけなら1分もかからないでしょう。でも、これを30日続けるなかで、きつといろんなことを思ったり感じたりすると思います。これが学習の豊かさであり、この『一つ一つの思いの積み重ね』が自分を豊かにしてくれます。こんなことをしてもテストの点は上がらないかもしれません。でも、そんなことは関係ないのです。好きなことについて、少し深く考えてみる。そんな習慣を身につけてほしいです。

## さいごに『勉強のすすめ』

『みんながやる勉強』と『自分らしさを育てる勉強』についてお話してきました。どうしてこの話をしようと思ったかというと、「勉強はやらされるもの。」という考えを変えてほしかったからです。もちろん、勉強の中には『やらされる』ものもあります。そのところは、大人になるために、イヤでもがんばってください。ただ、勉強はそれだけではないのだということ。好きなことを、楽しく学んで、そして自分を豊かにしてくれる、そんな勉強もあるんだ、楽しい勉強は家のほうが自由にできるんだ。ということを知ってほしかったのです。

先生は、みなさんが小学生のうちに『学ぶことの楽しさを知り、勉強を楽しめる人になってほしい』と心から願っています。

長い、難しい文章に最後まで付き合ってくれて、ありがとう。校長先生。